

膵切除後合併症に対する再手術症例の検討に関する研究のお知らせ

(昭和大学藤が丘病院) では以下の研究を行います。

本研究は、機関の長の許可を受け、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、研究実施機関の長の研究実施許可 から 2025年 12月 31日 まで

[研究課題]

膵切除後合併症に対する再手術症例の検討

[研究目的]

膵切除術後に合併症が発生した患者に対して再手術を施行した症例を対象として、患者さんの背景情報、術後の治療経過、治療のタイミング、予後(転帰)などの臨床的要因を解析・評価し、最適な治療のタイミングや予後に影響を与える因子を特定することを目的として上記検討を行います。

[研究意義]

膵切除術後の合併症は致死的となることもあります。膵切除後合併症発生時に関連する臨床病理学的因子や治療法の選択、治療のタイミングと予後(転帰)を検討することにより、合併症発生時の最適な治療法選択とタイミングを特定することで今後の膵切除の質向上と患者さんに対する安全性向上に寄与することが期待されます。

[対象・研究方法]

日本膵切研究会参加施設 90 施設で 2012 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の期間に膵切除術を施行し、2023 年 6 月 30 日までに術後合併症に対して再手術を施行した症例を対象とします。診療録に記載された過去のデータをふりかえる研究(後ろ向き研究)として行います。年齢・性別などの背景要因・検査所見・手術の状況・術後の合併症等に関するデータを収集します。本研究の解析で得られた知見を学会・論文を通じて医療レベル全体の向上を図るとともに、今後診療を受けて頂く患者さんに良質な医療を提供するための資料として活用することで更なる治療成績の向上や安全性の向上を目指します。

[研究機関名]

奈良県立医科大学を研究代表機関として全国の日本膵切研究会参加施設が参加して行う研究です。研究代表者は奈良県立医科大学 消化器・総合外科 庄 雅之 教授です。参加予定施設と責任者は別紙のとおりです。

[個人情報の取り扱い]

研究で使用する全ての情報は、各参加施設から帝京大学に提供される情報も含め、研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付けて個人を特定できないように加工されます。これにより、対象者の秘密保護に十分配慮します。また、各機関の規定等に従い、情報は厳重に保管され、研究終了後に一定期間の保管の後に破棄されます。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 田中邦哉 職名 教授
研究分担者: 氏名 松尾憲一 職名 教授
所属: 昭和大学 医学部 外科学講座 消化器一般外科学部門
住所: 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 TEL: 045-971-1151 (代表) (内線) 2173